

令和5年度「まちかどコメンテーター」 アンケート調査結果

<抜粋版>

鹿児島市

・第2回

- 1 日本遺産「薩摩の武士が生きた町」について（文化財課）
- 2 自転車通行空間の整備について（道路建設課）

目 次

I	調査の概要	1
II	日本遺産「薩摩の武士が生きた町」について.....	5
III	自転車通行空間の整備について	14

I 調査の概要

1. まちかどコメンテーターの概要

(1) まちかどコメンテーターとは

市民の皆様に「まちかどコメンテーター」になってもらい、市民目線の意見・提言を聴取するとともに、市民のニーズを把握し、市政運営の参考とさせていただくものです。

また、アンケートを通じて、市民の皆様の市政への関心・興味を深めていただくことも目的としています。

(2) まちかどコメンテーターの選定方法

市内に住むか通勤・通学する 18 歳以上の方を対象とし、一般公募及び住民基本台帳から無作為抽出した市民 2,500 人への就任依頼において、応募・承諾いただいた方により構成しています。

(3) 任期

令和 5 年 6 月 1 日～令和 6 年 5 月 31 日

(4) 人数

401 人（第 2 回調査実施時点）

(5) 所管課

市民局 市民文化部 市民協働課

2. 第2回調査の概要

(1) 調査概要

テーマ/担当課	日本遺産「薩摩の武士が生きた町」について	文化財課
	自転車通行空間の整備について	道路建設課
調査期間	令和5年8月10日～8月28日	
回答率	85.7% (344人)	

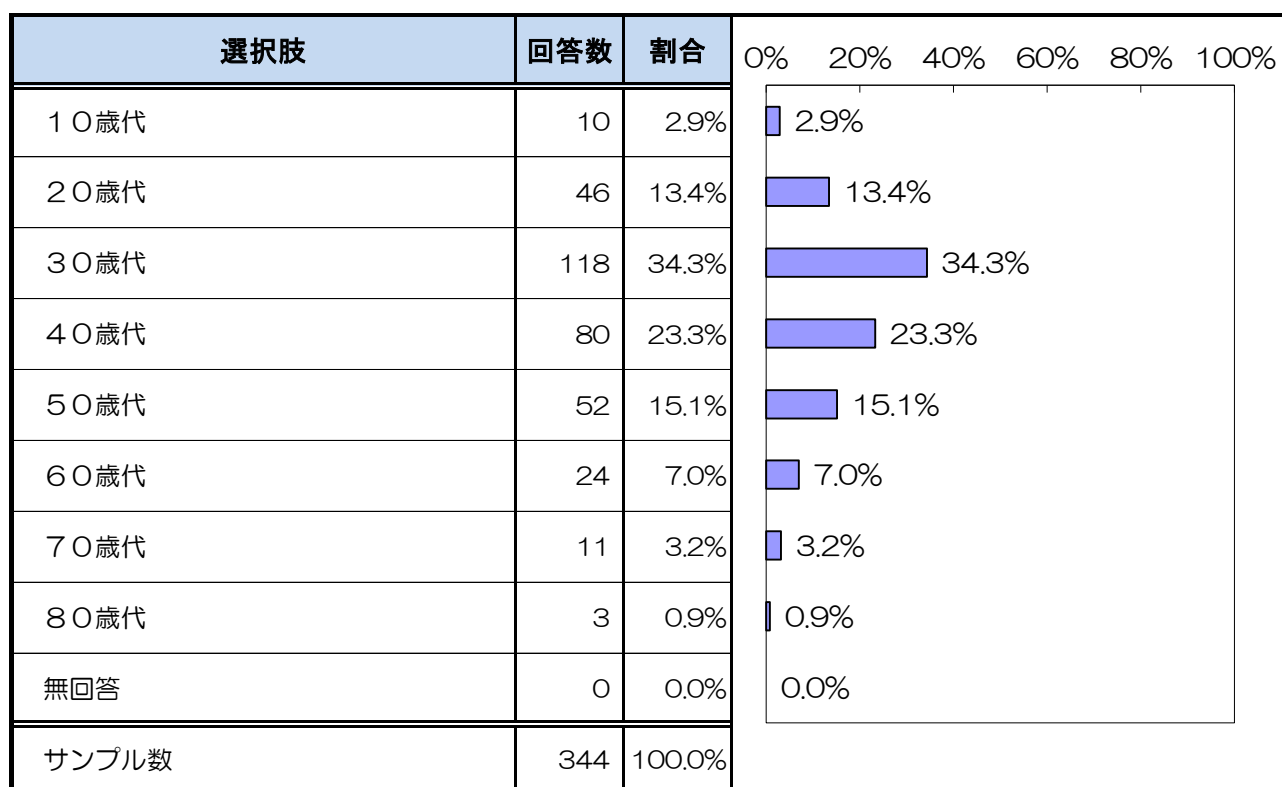
(2) 回答者属性

① 性別

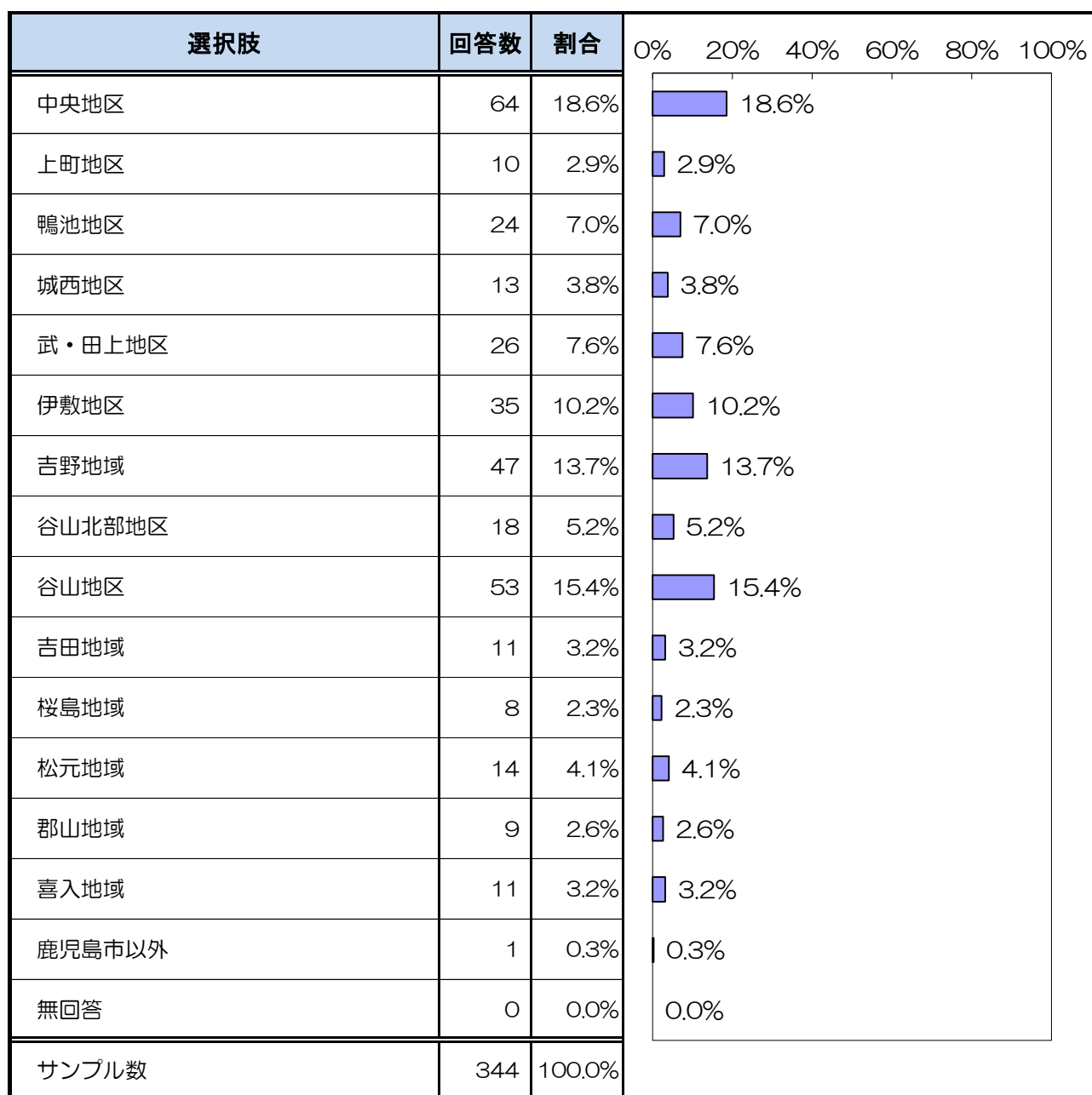
選択肢	回答数	割合
男	99	28.8%
女	238	69.2%
その他・答えたくない	7	2.0%
無回答	0	0.0%
サンプル数	344	100.0%

A pie chart illustrating the gender distribution of respondents. The chart is divided into four segments: a large red segment for '女' (Female) at 69.2%, a blue segment for '男' (Male) at 28.8%, a small green segment for 'その他・答えたくない' (Other/Don't want to answer) at 2.0%, and a very thin white segment for '無回答' (No answer) at 0.0%.

② 年代



③ 居住地



3. 報告書上の留意点

- ・ 構成比は小数点第2位以下を四捨五入して表示しているため、合計が合わない場合があります。
- ・ 複数回答可の質問の構成比の合計は100%を超えることがあります。
- ・ 設問文や選択肢等の表記において、原文より変更している場合があります。
- ・ 不適切な表現がみられた意見については、一部削除しております。

Ⅱ 日本遺産「薩摩の武士が生きた町」について

1. 調査の目的

令和元年5月に、「薩摩の武士が生きた町～武家屋敷群“麓”を歩く～」が日本遺産に認定されました。日本遺産「薩摩の武士が生きた町」を構成する“麓”として、本市には「鹿児島城」地区と「喜入旧麓」地区があります。

日本遺産とは、地域の歴史的魅力を発信するテーマを持ったストーリーのことです。

江戸時代、薩摩藩は、外敵からの攻撃に備え、本城である鹿児島城を中心とし、県内各地に外城（とじょう）を配置し、武士団を住まわせていました。これは外城制度と呼ばれ、薩摩藩独自の体制でした。現在も、外城の中心地である麓（ふもと）と呼ばれる武家屋敷群が、県内各地に数多く残されています。これらの薩摩藩独自のストーリーが「薩摩の武士が生きた町～武家屋敷群“麓”を歩く～」として日本遺産に認定されました。

市民の皆さんに、日本遺産「薩摩の武士が生きた町」を理解していただき、地域の活性化につなげていくため、その認知度などを把握し、今後の事業推進の参考とするため、アンケートを実施しました。

2. 調査結果を受けて担当課（文化財課）からのコメント

「日本遺産」の認知度をみる設問において、「日本遺産」という言葉を、「聞いたことはあったが、内容についてはよく知らなかった」が40.1%、「聞いたことがなかった」が48.5%でした。二つを合わせると88.6%と、認知度の低さが浮き彫りとなりました。

また、「薩摩の武士が生きた町～武家屋敷群“麓”を歩く～」について、「聞いたことがあった」と回答した19.8%の人が、どのような媒体から情報を得ていたという問いに対し、「市の広報誌」、「テレビ」、「ポスター・パンフレット等」が上位を占めています。

これに対し、「日頃、どのような媒体を使って情報を得ることが多いか」との問いでは、「SNS」、「テレビ」、「ホームページ」が上位を占めています。このことから、「SNS」や「ホームページ」における情報発信が、効果を期待できる手段であるということが分かりました。

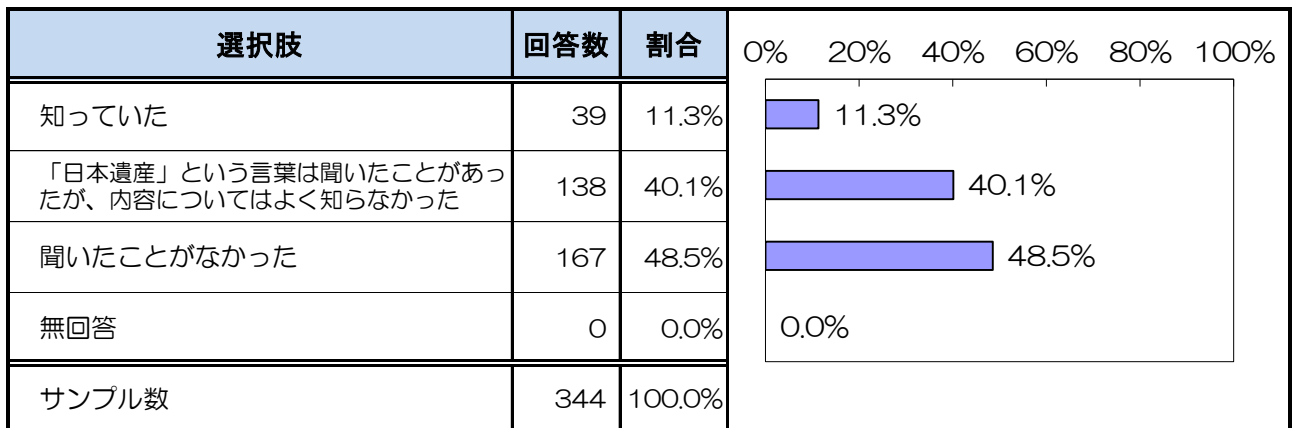
個別回答においても、SNSの活用が数多く寄せられるとともに、各種イベントによって、日本遺産を身近なものにしていくというご意見がありました。

日本遺産「薩摩の武士が生きた町」の周知・広報活動の強化を図りつつ、今回いただいたご回答を踏まえ、イベント等、どのように活用を図っていくか、検討してまいりたいと思います。

3. 調査結果

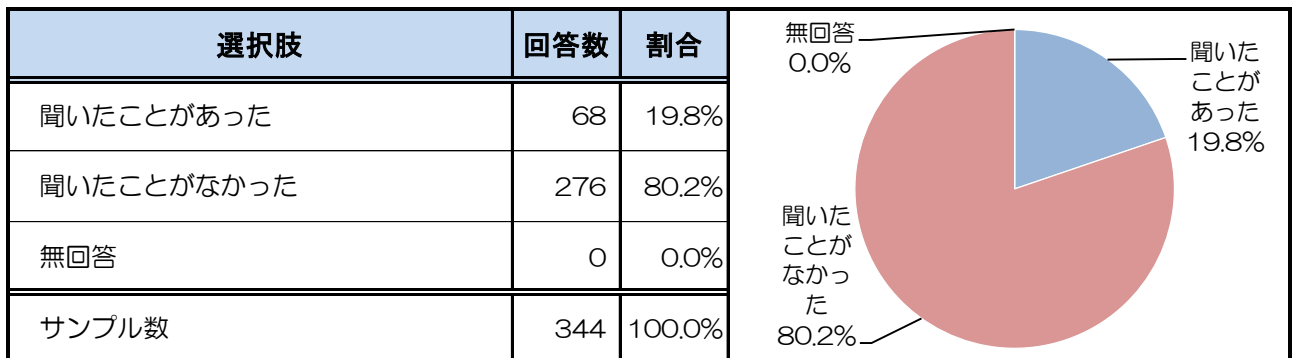
問1 あなたは文化庁が地域の文化や伝統が語られているストーリーを「日本遺産」として認定していることを知っていましたか。(ひとつだけ)

「知っていた」が 11.3%、「「日本遺産」という言葉は聞いたことがあったが、内容についてはよく知らなかった」が 40.1%、「聞いたことがなかった」が 48.5%となっている。



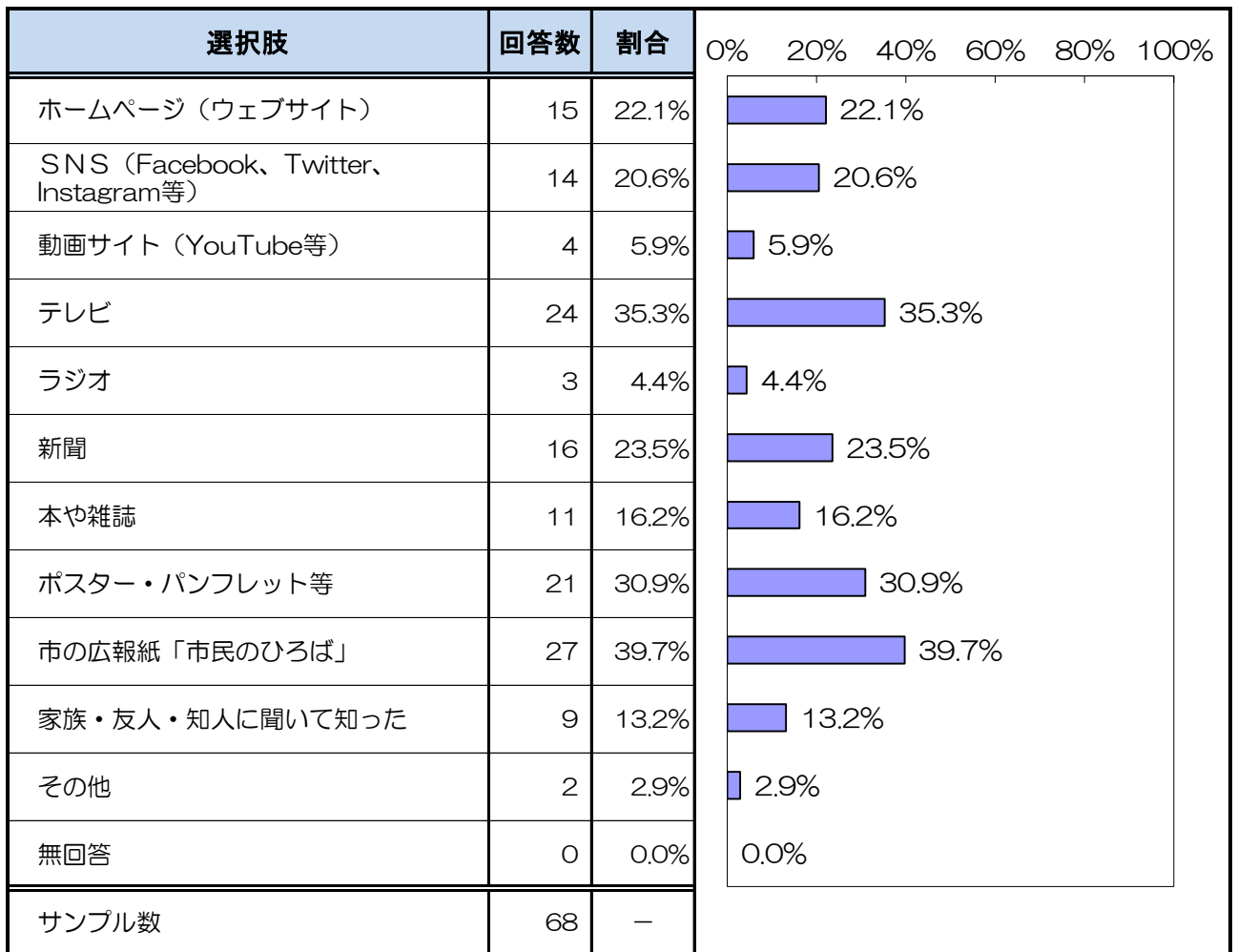
問2 「薩摩の武士が生きた町～武家屋敷群“麓”を歩く～」というものを聞いたことがありましたか。(ひとつだけ)

「聞いたことがあった」が 19.8%、「聞いたことがなかった」が 80.2%となっている。



問3 問2で「1. 聞いたことがあった」とお答えした方にお伺いします。
 「薩摩の武士が生きた町」の情報をどのように知りましたか。(いくつでも)

「市の広報紙「市民のひろば」」が39.7%と最も高く、次いで、「テレビ」の35.3%、「ポスター・パンフレット等」の30.9%の順となっている。

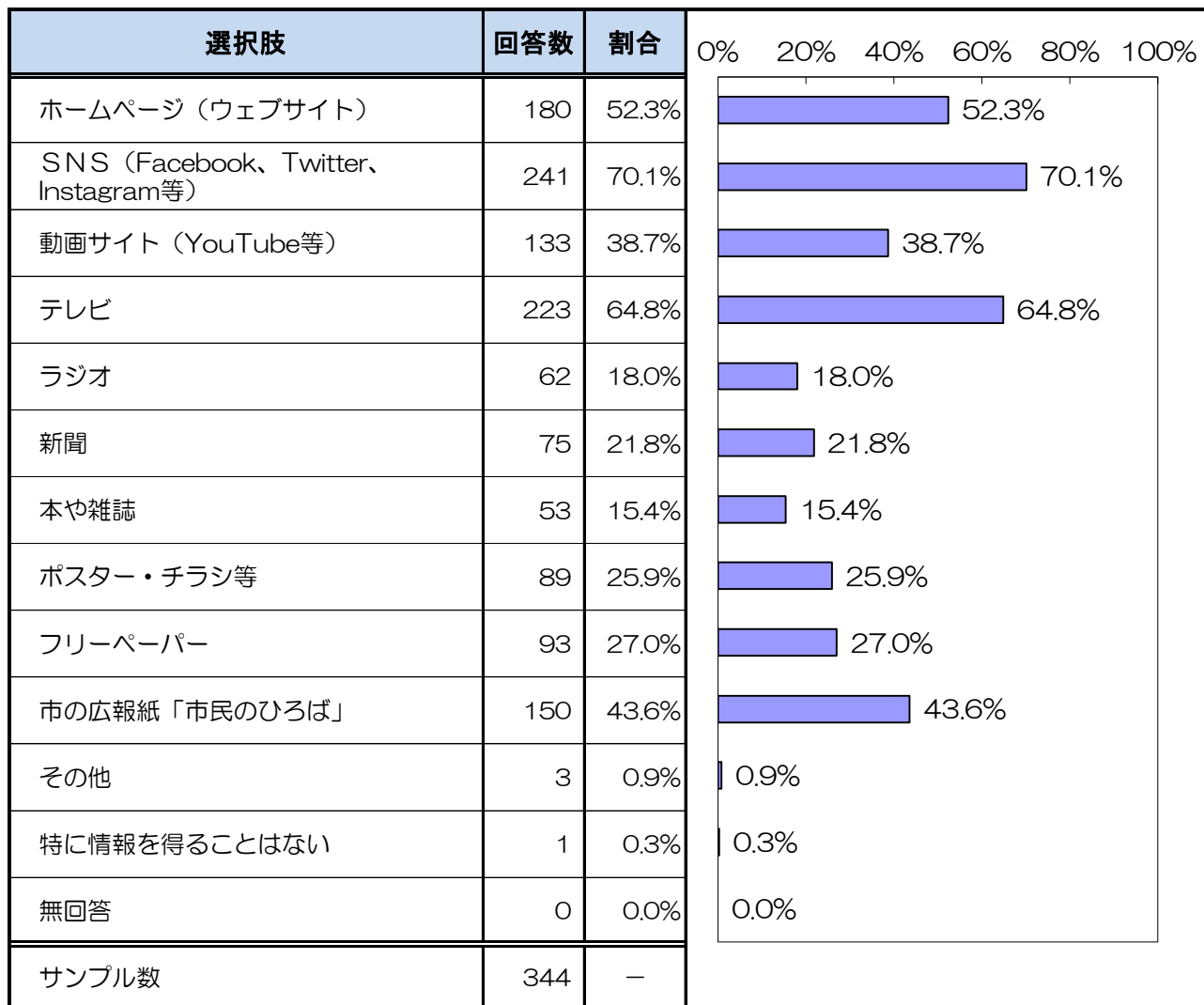


◆その他の回答（原文まま）

- ・散歩中

問4 問4からはすべての方にお伺いします。日頃から、どのような媒体を使って情報を得ることが多いですか。(いくつでも)

「SNS (Facebook (フェイスブック)、Twitter (ツイッター)、Instagram (インスタグラム) 等)」が 70.1%と最も高く、次いで、「テレビ」の 64.8%、「ホームページ (ウェブサイト)」の 52.3%の順となっている。

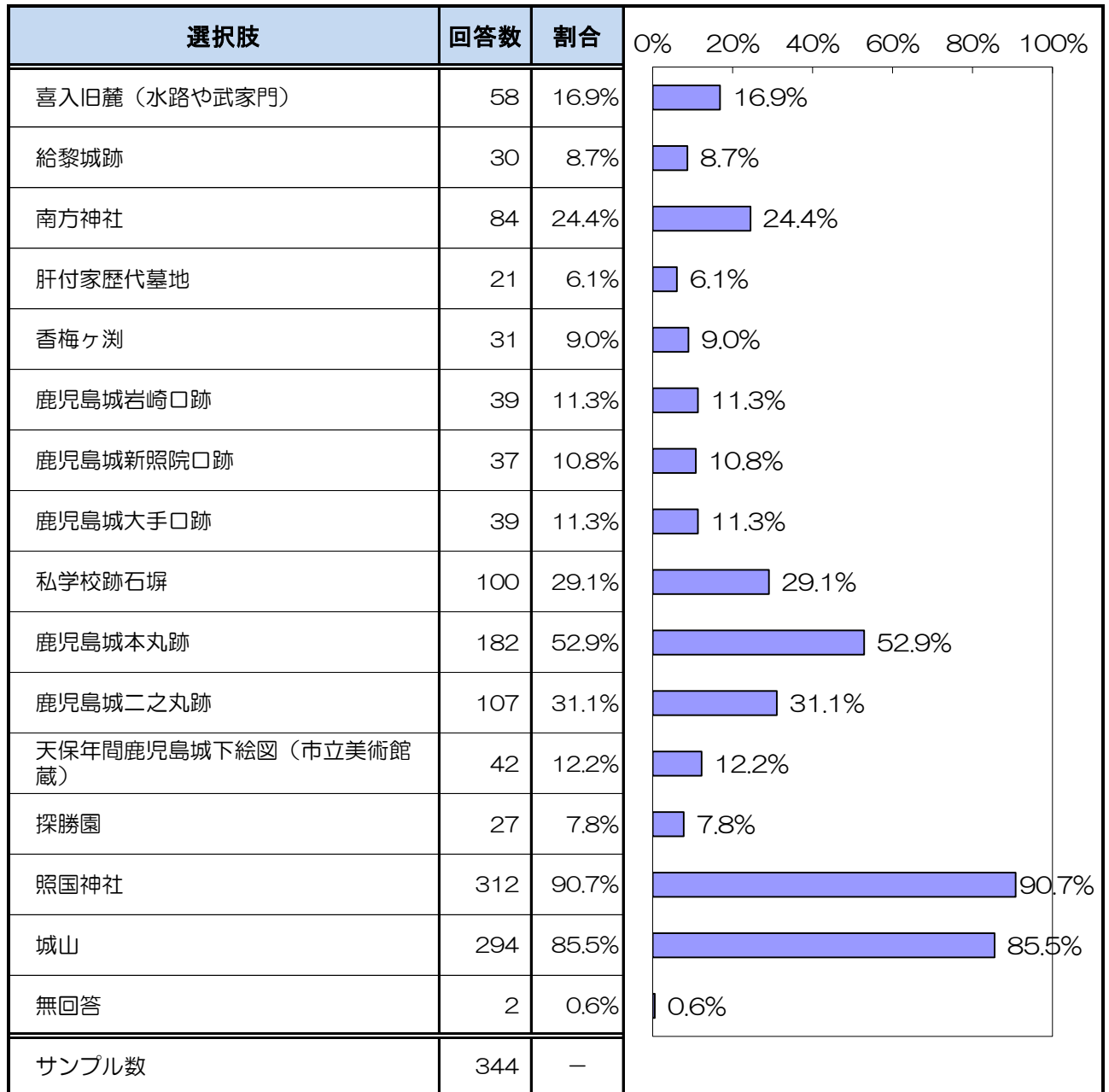


◆その他の回答 (原文まま)

- ・鹿児島地域のことやイベントについては、バカンスが多い
- ・子供が学校から、貰ってくるチラシとかお知らせで知ることがあります。
- ・知人等

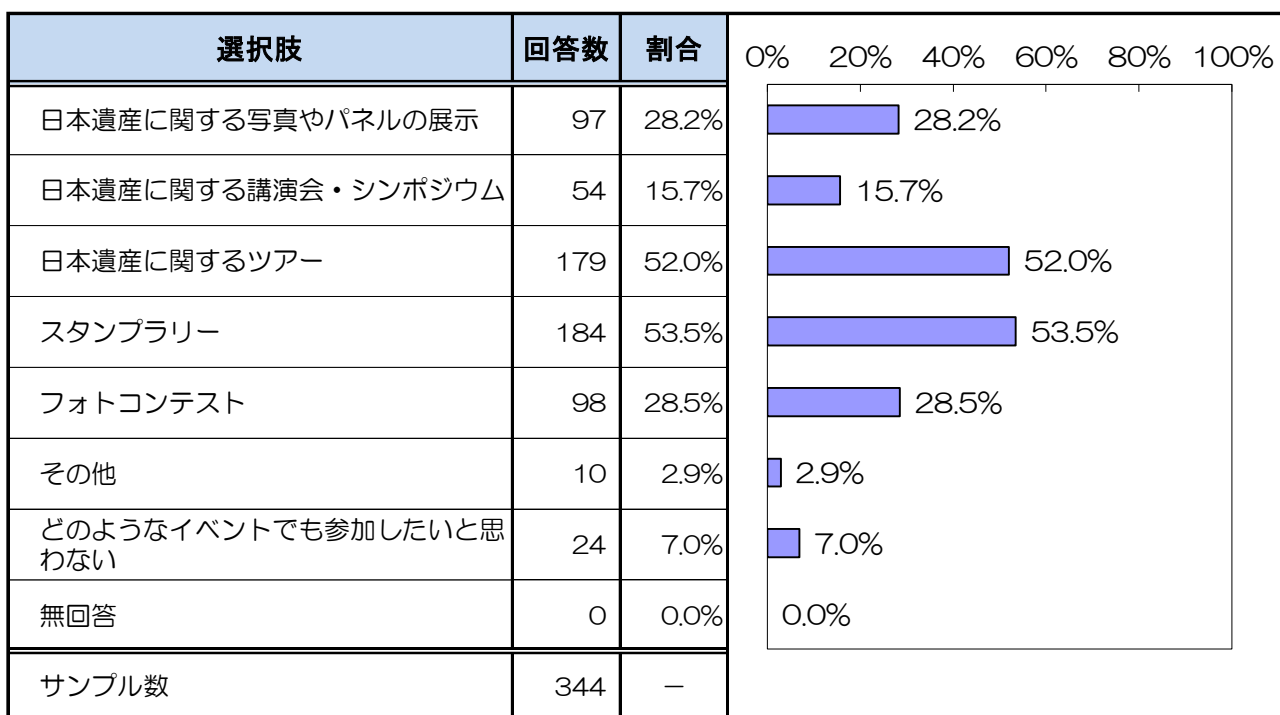
問5 日本遺産の構成文化財の中で、知っているものをお選びください。
(いくつでも)

「照国神社」が90.7%と最も高く、次いで、「城山」の85.5%、「鹿児島城本丸跡」の52.9%の順となっている。



問6 現在、日本遺産（「薩摩の武士が生きた町」）を周知するために、各種イベントを行っていますが、今後どのようなイベントであれば参加したいと思いますか。（いくつでも）

「スタンプラリー」が 53.5%と最も高く、次いで、「日本遺産に関するツアー」の 52.0%、「フォトコンテスト」の 28.5%の順となっている。

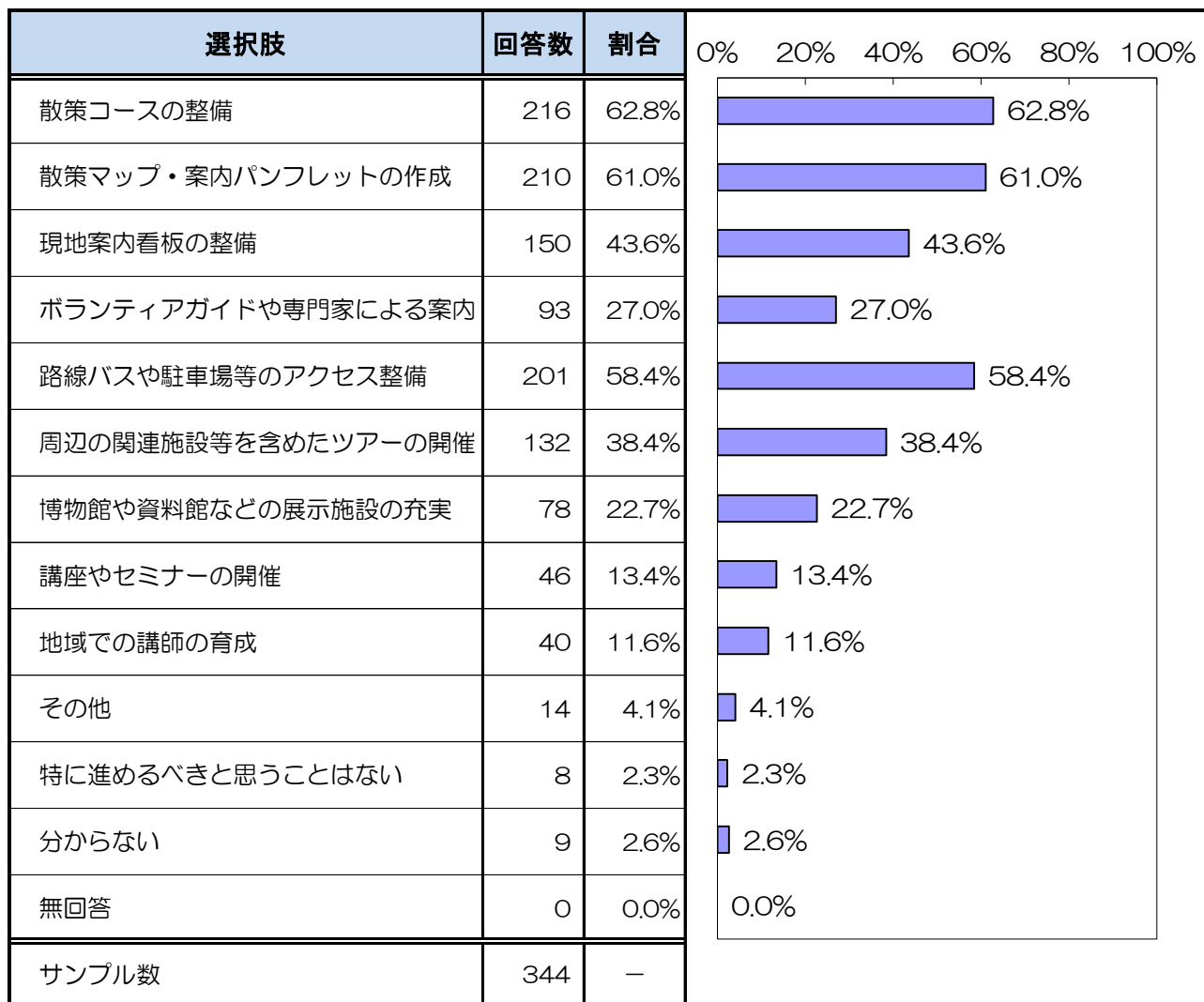


◆その他の回答（原文まま）

- ・特にありません
- ・自転車で周遊する。
- ・子どもが楽しめるイベント
- ・映画とかなら見ると思いますし SNS 等でも拡散されて PR 効果は高いと思います。
- ・その時代を再現したイベントや仕事、食事の販売
- ・グルメイベントや家族参加
- ・インスタ映えするようなフォトスポットや衣装の貸出等があれば参加してみたいです
- ・イベントを開催する際の支出が無駄。イベントを廃止して欲しい。文化庁の日本遺産も廃止して欲しい。税金の無駄遣いを無くして欲しい。
- ・イベントというよりは、日常的に訪れることができるような身近な場所になるといいなと思う。（ご飯を食べたり散歩できたり）
- ・youtube などで興味を引く動画の作成→それを主軸としてスタンプラリーや講演会の集客やそれに伴ったキャンペーンを行う。

問7 鹿児島市の日本遺産（「薩摩の武士が生きた町」）を活用していくためには、どのようなことを進めればよいと思いますか。（いくつでも）

「散策コースの整備」が62.8%と最も高く、次いで、「散策マップ・案内パンフレットの作成」の61.0%、「路線バスや駐車場等のアクセス整備」の58.4%の順となっている。



◆その他の回答（原文まま）

- SNS での情報発信
- 鹿児島県の遺産名所案内又は広く知ってもらうには、駐車場等がないところがある。
- その時代の格好をしたスタッフが接客や案内をしたり、特産品などの販売を行う。
- テレビ（具体的には、MBC のてげてげや KTS のナマ・イキ VOICE のような）で取り上げていただく。SNS で例えばインスタグラマーとして鹿児島をアピールされている方と組む。
- 案内の動画や音声の QR コードをその場所事に配置してボランティアガイドさんにガイドしてもらっているかのような仕組みが欲しい。これなら 24 時間年中無休で案内をしてもらえる。ただ見るだけ、ふ〜んで終わらない仕組みが欲しい。
- 映画等を作成し舞台裏の情報等を展示することで集客できると思います。
- 京都にあるような観光タクシーを増やす！ 観光させるために荷物が邪魔になる、だから荷物を預けられつつガイドがいる「観光タクシー」がいいと思った
- 散策だけでなく、その地域の特産品やおすすめランチ等できるところを一緒にご案内があると楽しみも増える。行ってもどこになにがあるのか、どういう歴史的なものなのかがわかると興味もでるのでは？
- 子供向けのイベント、教育、講習会など
- 周辺に店舗や飲食店を整備する
- 対象を具体的に想像するところから始まると思います。
- 茶屋・甘味処
- 特に旅行者をターゲットとした、多言語もしゃべれるガイド（録音可能）を用意して、個人旅行で来た人にも対応できるようにすれば、特に個人旅行が好きな外国人にも対応できます。※彼らは団体行動が好きではありませんので周知すべき点です。
- 歴史クイズや歴史に触れたイベント

問8 鹿児島市の日本遺産（「薩摩の武士が生きた町」）を今後どのように活用すべきだと思いますか。（任意回答）

◆回答一覧（一部抜粋・原文まま）

回答内容	性別	年代	地域
SNS 等で情報発信を強化し、観光資産とする。歴史遺産として武士の生活やあり方を外国人向けに発信して国際的にも知名度を上げていく。	男	40歳代	吉野
鹿児島市と県内の麓をめぐるツアーや、散策マップ、案内パンフレットの作成、現地案内板の整備をすると今後、視察に行く機会が多くなると思う。	男	70歳代	伊敷
貴重な遺産なので多くの人に知ってほしいと思います。そのためには学生の遠足などにも活用出来れば良いのではないのでしょうか？学校へチラシやポスターなど置いてもらうのはどうでしょうか。	女	50歳代	吉田

Ⅲ 自転車通行空間の整備について

1. 調査の目的

本市では、自転車で安全、快適に通行できるまちづくりを推進するため、平成 25 年 5 月に策定した「鹿児島市自転車走行ネットワーク整備計画」に基づき、これまで中心市街地とその周辺部において、自転車走行空間の整備に取り組んできており、引き続き、安心・安全な自転車走行空間の整備を推進していくこととしております。

この度、「(次期)自転車走行ネットワーク整備計画」の策定に向けた検討を行うこととしており、自転車の利用状況や利用する際の課題などについて把握し、次期計画の参考とするため、アンケートを実施しました。

2. 調査結果を受けて担当課（道路建設課）からのコメント

皆様から多くのご回答やご意見をいただきまして、誠にありがとうございました。

自転車は車両であり、車道通行が原則となっておりますが、歩道付の道路での通行位置について「車道」と回答した方が 16.1%にとどまっていることや、自転車の走行ルートを選択理由について「歩道が広い」と回答した方が 51.6%で最も多いことから、自転車の車道通行が徹底されていない実態が分かりました。

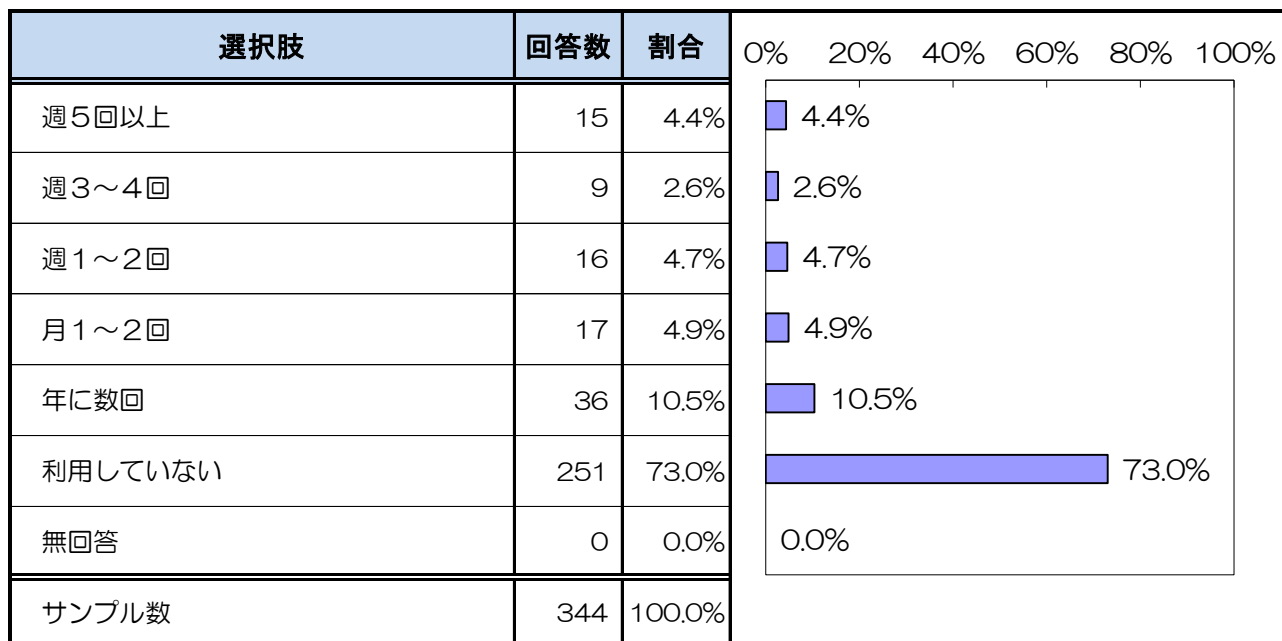
また、危険を感じた場面として「車道での走行中の車との接触」が 51.6%で最も多く、自転車走行空間の整備について 87.1%の方から「推進すべき」と回答をいただいたことから、安全に利用できる自転車走行空間の整備が求められていることが分かりました。このほか、自転車の利用促進に必要な取組として 28.5%の方が「自転車利用のルール・マナー啓発や交通安全教育の推進」と回答され、自由意見においても交通ルールやマナーに関するご意見を多くいただいたことから、走行空間の整備に合わせて自転車利用ルールの周知啓発などを推進する必要があることが分かりました。

今回の調査結果を参考に、次期自転車走行ネットワーク整備計画の策定に向けて検討を進め、「自転車で安全・快適に通行できるまちづくり」の実現に向けて取り組んでまいります。

3. 調査結果

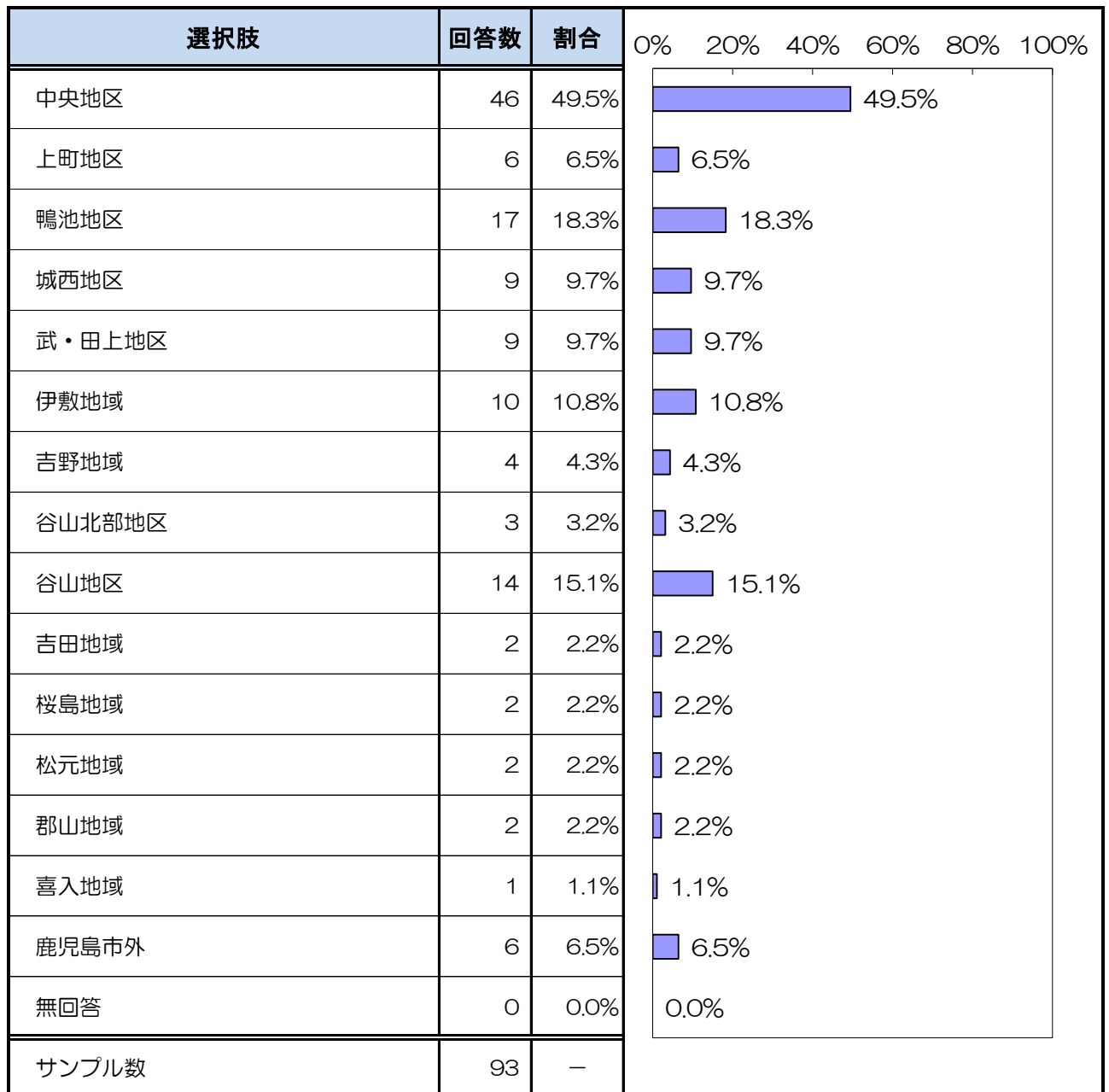
問9 自転車をどのくらいの頻度で利用していますか。(ひとつだけ)

「利用していない」が73.0%と最も高く、次いで、「年に数回」の10.5%、「月1～2回」の4.9%の順となっている。



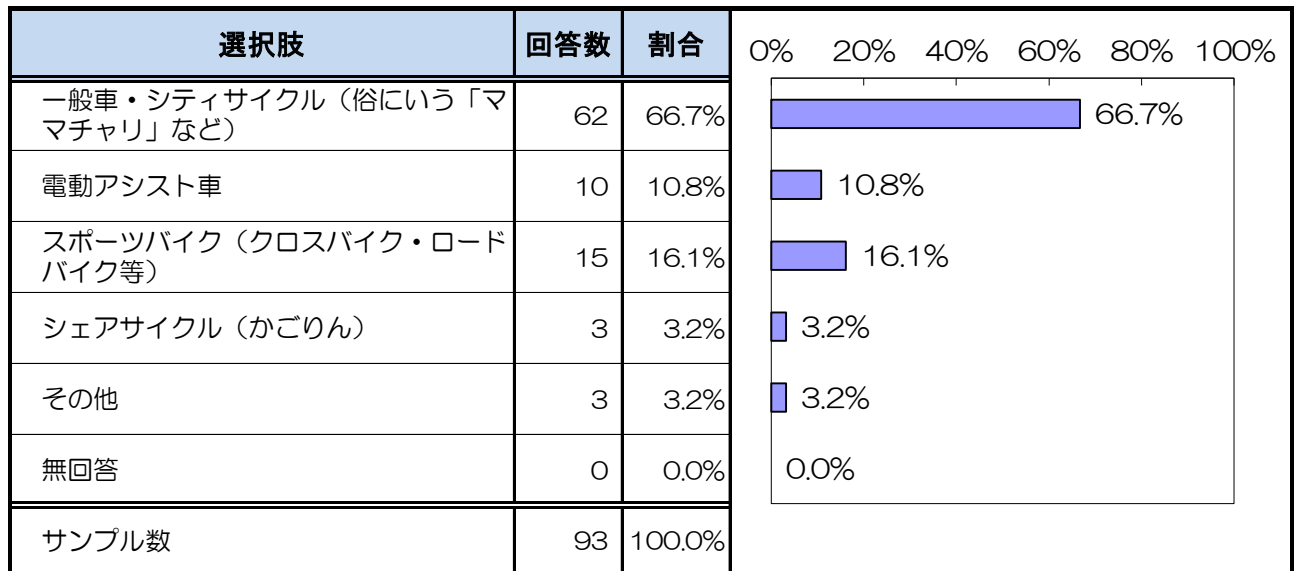
問10 問10～問18までは、問9で自転車を利用していると答えした方にお伺いします。自転車を利用する主な地域を選択してください。（3つまで）

「中央地区」が49.5%と最も高く、次いで、「鴨池地区」の18.3%、「谷山地区」の15.1%の順となっている。



問11 どのような自転車を主に利用していますか。(ひとつだけ)

「一般車・シティサイクル（俗にいう「ママチャリ」など）」が 66.7%と最も高く、次いで、「スポーツバイク（クロスバイク・ロードバイク等）」の 16.1%、「電動アシスト車」の 10.8%の順となっている。

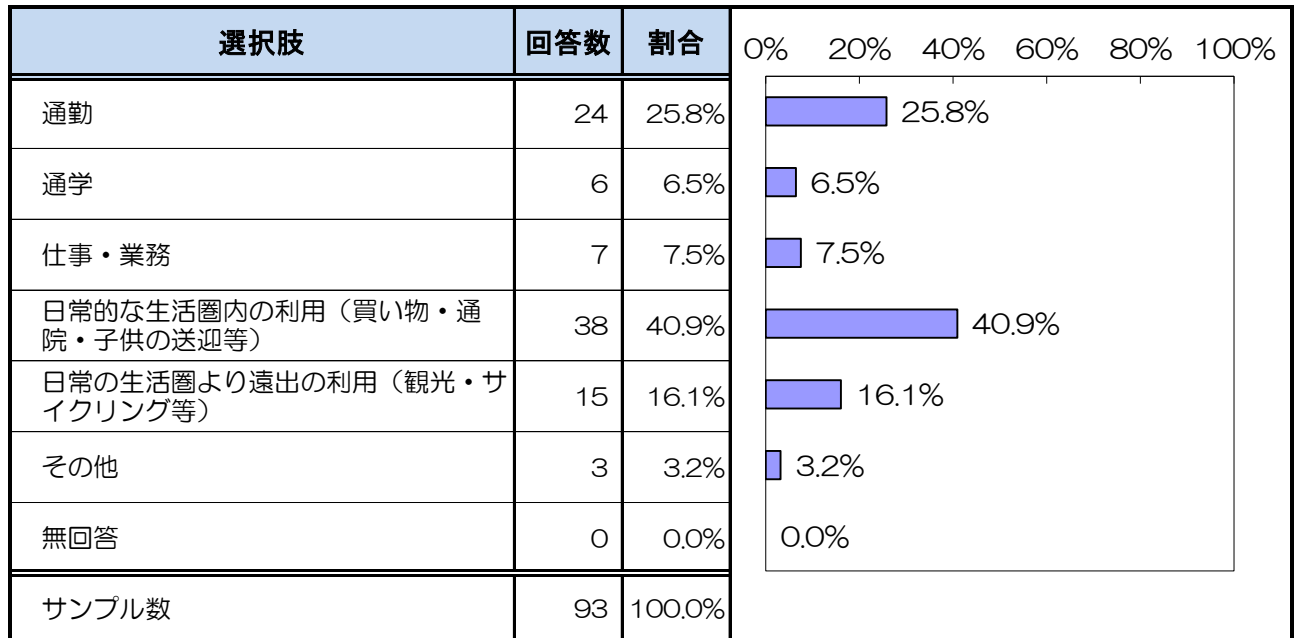


◆その他の回答

- ・サイクリングコースでのレンタル
- ・マウンテンバイク
- ・転勤する人が置いて行った各種自転車を使用しています。

問 12 自転車を利用する主な目的は何ですか。(ひとつだけ)

「日常的な生活圏内の利用（買い物・通院・子供の送迎等）」が 40.9%と最も高く、次いで、「通勤」の 25.8%、「日常の生活圏より遠出の利用（観光・サイクリング等）」の 16.1%の順となっている。

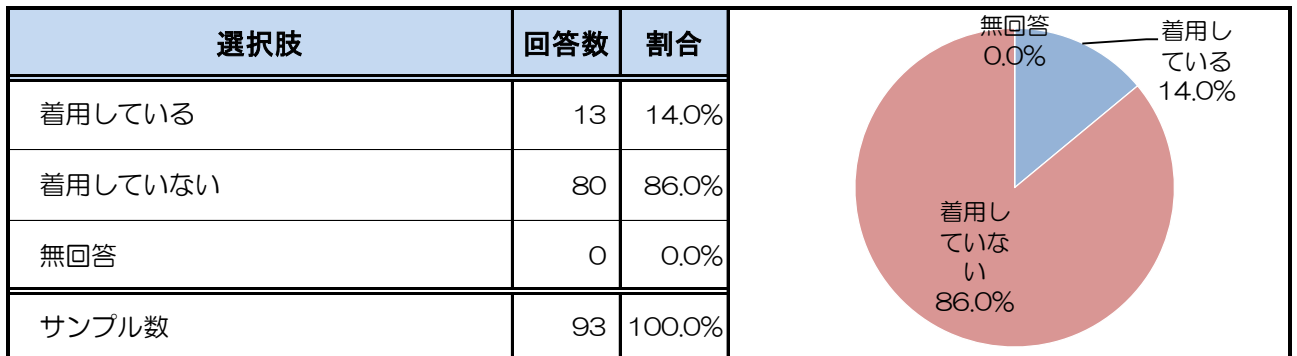


◆その他の回答（原文まま）

- ・職場（プラント）内の移動で使用しています。
- ・利用しない
- ・利用用途はさまざま。バスの便が悪いところの繋ぎで利用したり、公共施設へ行くのに利用する。

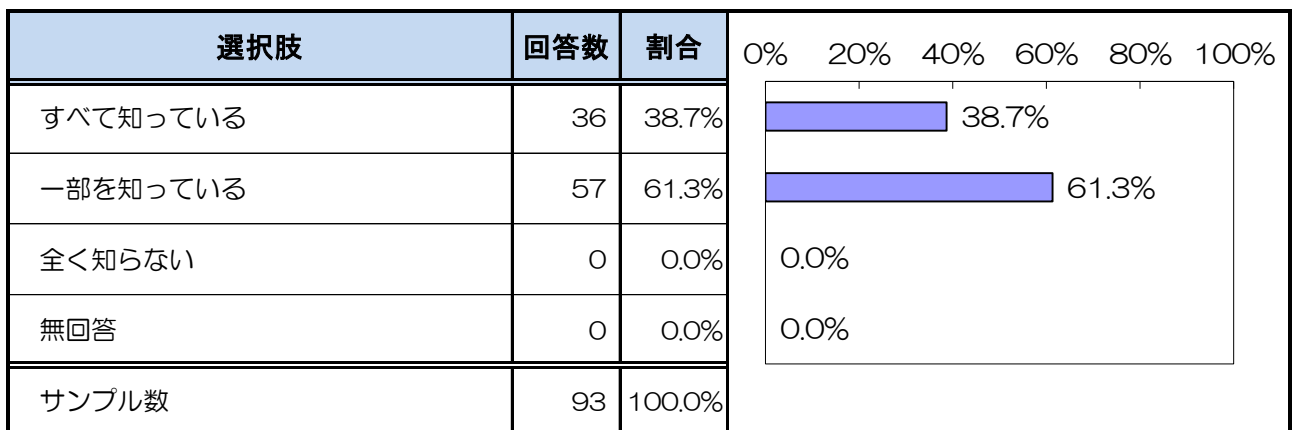
問 13 自転車を運転するとき、ヘルメットを着用していますか。(ひとつだけ)

「着用している」が 14.0%、「着用していない」が 86.0%となっている。



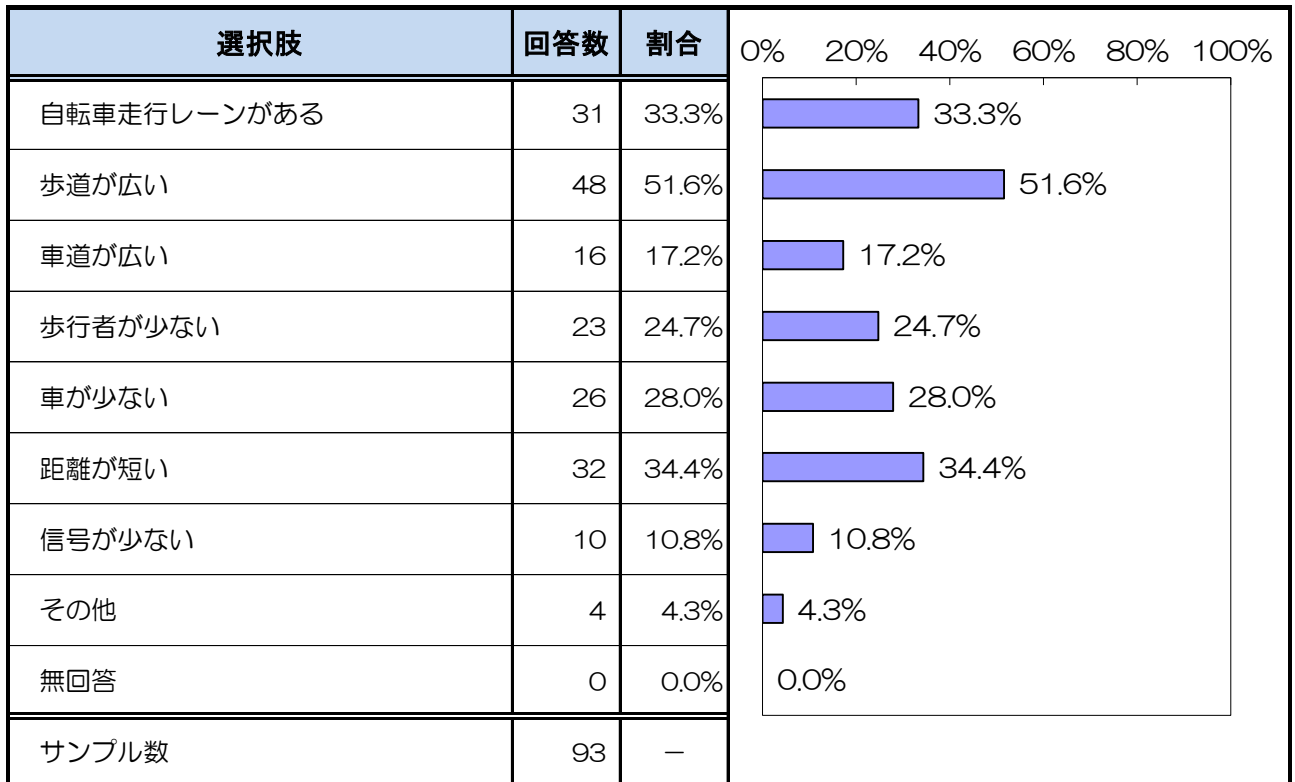
問 14 自転車の安全利用のルールを知っていますか。(ひとつだけ)

「すべて知っている」が 38.7%、「一部を知っている」が 61.3%、「全く知らない」が 0.0%となっている。



問 15 自転車の走行ルートは、どのような理由から選択していますか。(3つまで)

「歩道が広い」が 51.6%と最も高く、次いで、「距離が短い」の 34.4%、「自転車走行レーンがある」の 33.3%の順となっている。

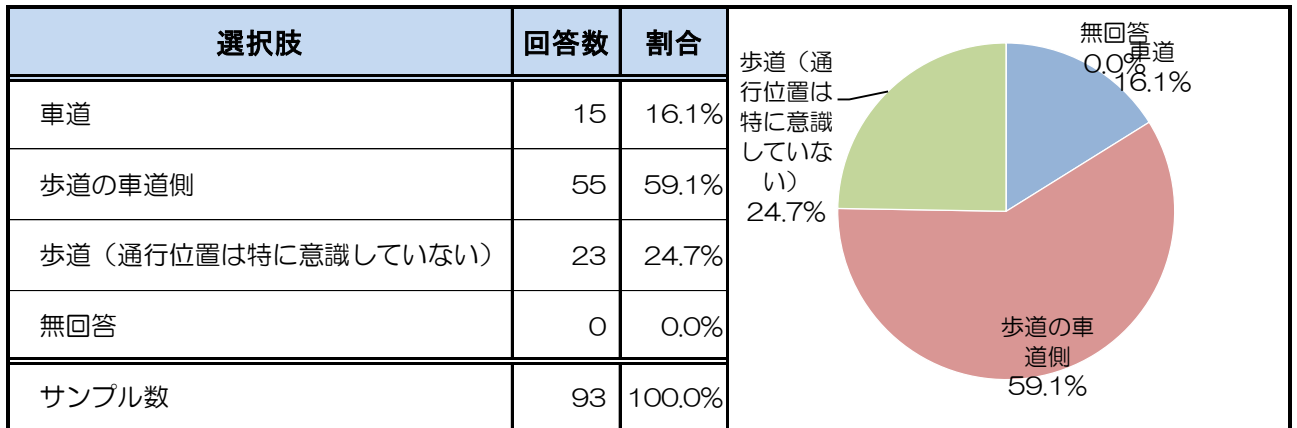


◆その他の回答（原文まま）

- ・その道しかないから
- ・最短ルートを選択しています。
- ・特に気にしていない
- ・特に考えてない。行きたいと思った方に行く。

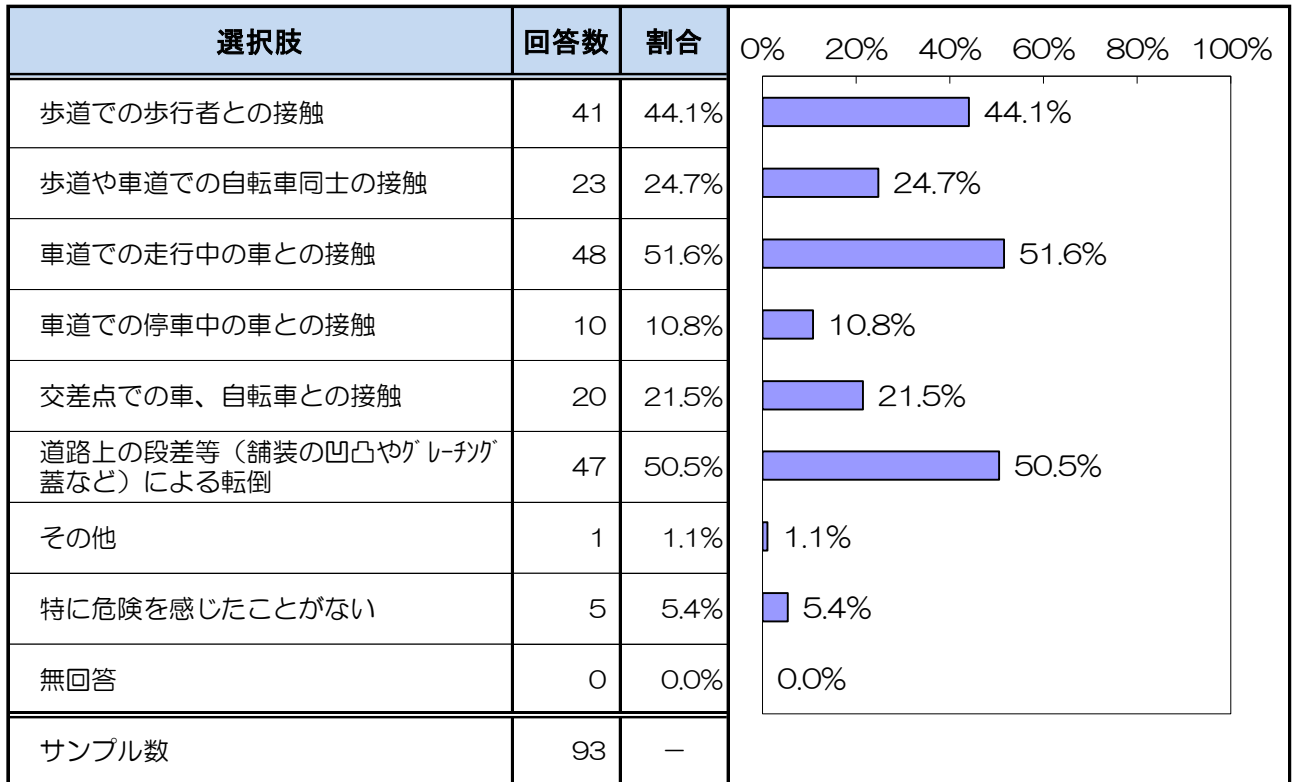
問 16 歩道付の道路を走行する場合、どの位置を走行することが多いですか。
(ひとつだけ)

「車道」が16.1%、「歩道の車道側」が59.1%、「歩道（通行位置は特に意識していない）」が24.7%となっている。



問 17 自転車を利用する際に危険を感じた場面を教えてください。(3つまで)

「車道での走行中の車との接触」が 51.6%と最も高く、次いで、「道路上の段差等（舗装の凹凸やグレーチング蓋など）による転倒」の 50.5%、「歩道での歩行者との接触」の 44.1%の順となっている。

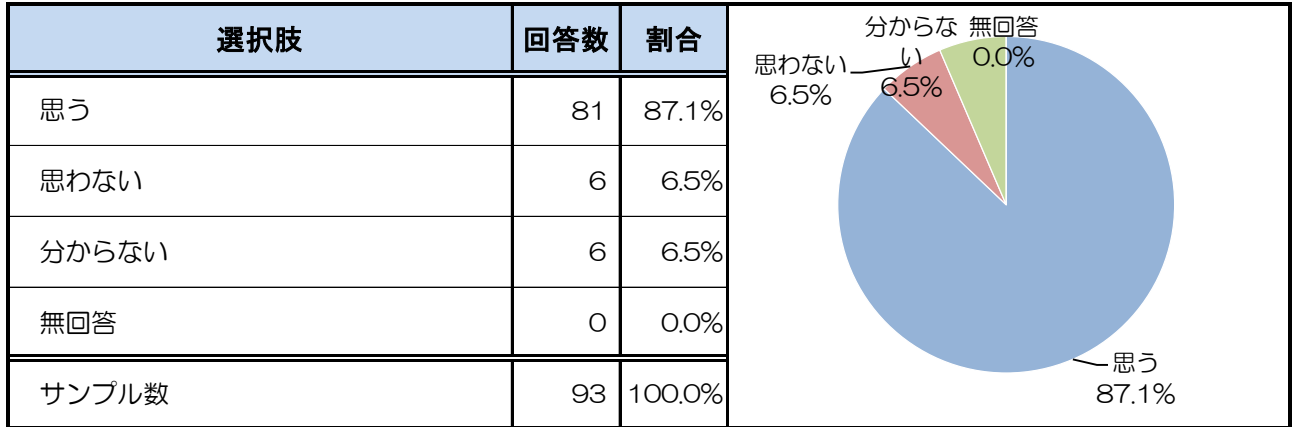


◆その他の回答（原文まま）

- ・市電周りの道路の凸凹、あと市電やタクシーが多い天文館らへんはどこを走っていいのかわからない

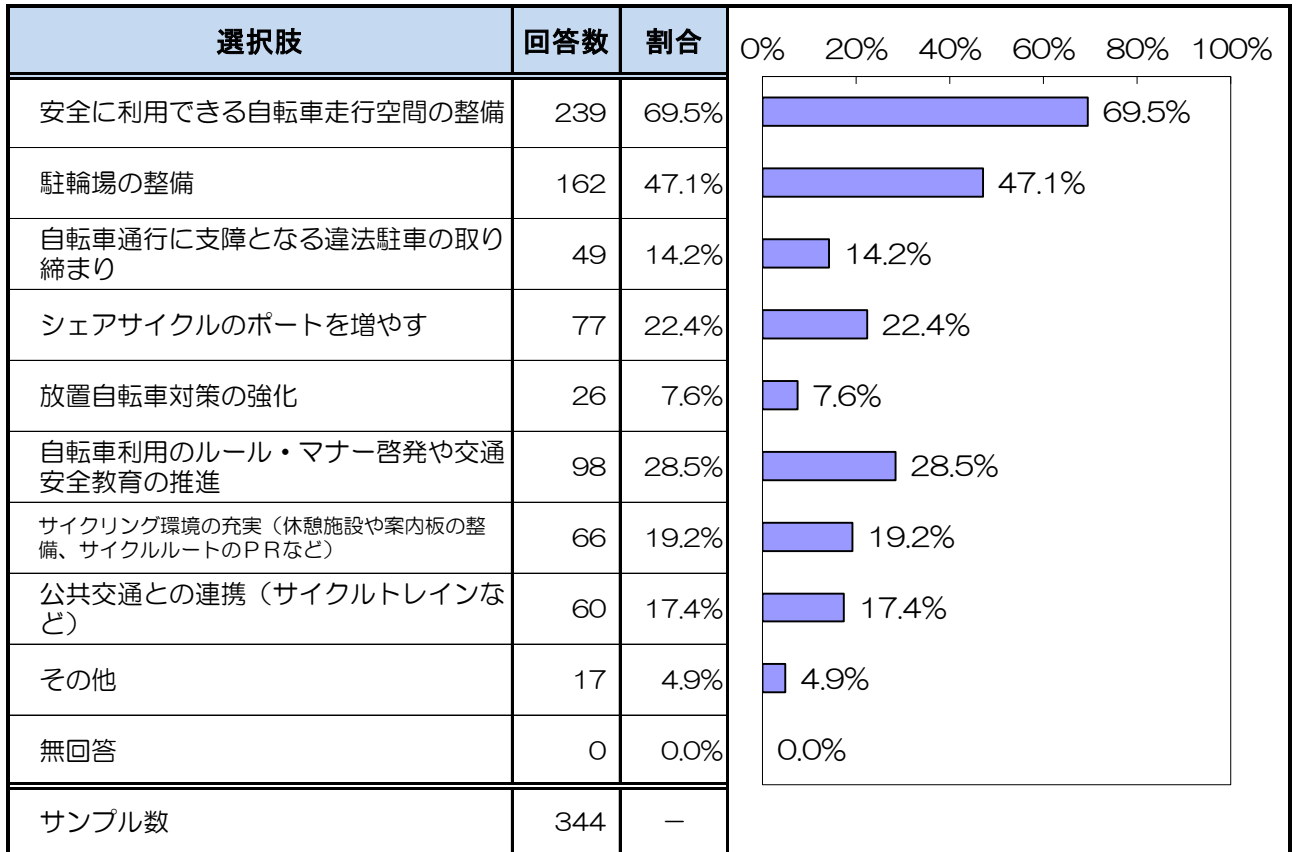
問 18 安全に利用できる自転車走行空間（自転車道や自転車専用通行帯など）の整備をさらに推進すべきと思いますか。（ひとつだけ）

「思う」が 87.1%、「思わない」が 6.5%、「分からない」が 6.5%となっている。



問 19 問 19からはすべての方にお伺いします。どのような取組が進めば、より自転車を利用したいと思いますか。(3つまで)

「安全に利用できる自転車走行空間の整備」が 69.5%と最も高く、次いで、「駐輪場の整備」の 47.1%、「自転車利用のルール・マナー啓発や交通安全教育の推進」の 28.5%の順となっている。



◆その他の回答（原文まま）

- ・グリーンオフィスかごしまで自転車通勤する社員がいた場合経営審査事項で加点すれば自転車通勤増えるかもしれません。
- ・シェアサイクルが、登録や個人情報なしにもっと気軽に使える
- ・自転車屋で購入時に徹底指導。保険加入についても指導。
- ・ついこの前、自転車の窃盗に会いました。施錠をしっかりすること、自転車が盗まれやすいことなどについて看板などで警告を行い、窃盗被害を少なくしてほしい。
- ・電動自転車が安くなれば、1～2万位で。
- ・違法な自転車走行の取締
- ・使うことはない。
- ・子どもがいるので利用する機会が無い
- ・自転車で施設に来ると割引してくれる
- ・自転車の危険運転などの取締り
- ・自転車購入の補助金
- ・自転車走行空間が完全に整備され、安心して乗れる状況が整えば利用したいです。
- ・自転車利用者に対する補助金(ルール遵守者やヘルメット購入者などに対する補助)
- ・住んでいる地区では自転車では不便すぎるので利用しようとは思わない
- ・地域的に高低差があり自転車に乗ることはなく、自動車主体。
- ・道路上の段差 特に歩道と車道の境のブロック
- ・未だに自転車に乗れないので、今後も練習などせず、乗る予定もありません。

問 20 今後の自転車に関する取組について、ご意見、ご要望などありましたらご記入ください。(任意回答)

◆回答一覧 (一部抜粋・原文まま)

回答内容	性別	年代	地域
自転車用の道を増やしてほしい。朝夜の通勤時間帯など凄い速さで自転車を走らせて脇を通り抜ける人がいて危ない。夕方違法駐輪が多く道が狭いところがある。駐輪場がいっぱいな時もあるのかなと思うので自転車置き場が街の分かりやすいところにあったら良いのかなと思います	女	30歳代	中央
車道を走るよう心がけていますが車に煽られたり至近距離で追い抜かれるとひやっとします。自転車走行空間のある場所を増やしてもらえると有り難いです。	女	20歳代	伊敷
大きい道路の歩道は、自転車専用レーンが、もうけられてますが、危ないシーンが、何度もありました。マナー、ルールが、もっとも大切だと思います。学校などで、最低限の自転車に乗る場合のマナーを教えたりする機会があれば良いですね。	女	60歳代	谷山